

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

# 東京都感染症週報

2019年第17週  
(4月22日～4月28日)

\* 2019年5月8日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

令和元年(2019年)5月8日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

## 全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2019年17週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		14週	15週	16週	17週	年累計	17週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	66	74	69	48	960	317	6,553
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 <sup>*1</sup>							
	中東呼吸器症候群 <sup>*2</sup>							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
	鳥インフルエンザ(H7N9)							
三類	コレラ					1	1	2
	細菌性赤痢			1		7		30
	腸管出血性大腸菌感染症	6	2	3	1	42	18	338
	腸チフス					1	1	11
	パラチフス		1			2	1	8
四類	E型肝炎	1	1	7	4	42	12	160
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	2	3	5	4	32	8	151
	エキノコックス症							3
	黄熱							
	オウム病					2		9
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							1
	サル痘							
	ジカウイルス感染症							
	重症熱性血小板減少症候群 <sup>*3</sup>						3	13
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							2
つつが虫病						1	47	
デング熱	2	1			29	3	96	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

\*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

\*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		14週	15週	16週	17週	年累計	17週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						1	13
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							1
	マラリア					2		11
	野兔病							
	ライム病							
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	3	4	3		41	21	413
レプトスピラ症					1	1	3	
ロッキー山紅斑熱								
2019/5/7集計								

( 全数把握対象疾患のコメント・一類～五類 )

〈二類感染症〉

**結核 48件** 患者 27件(肺結核 21件、その他の結核 5件、肺結核及びその他の結核 1件)、無症状病原体保有者 20件、疑似症 1件、年齢は5歳未満 2件、20代 8件、30代 7件、40代 4件、50代 6件、60代 2件、70代 5件、80代 10件、90歳以上 4件、推定感染地は国内36件、ベトナム 1件、国外(渡航先不明) 1件、不明 10件であった。

〈三類感染症〉

**腸管出血性大腸菌感染症 1件** 無症状病原体保有者、血清型・毒素型は血清型不明VT1、年齢は5歳未満、推定感染地はネパール、推定感染経路は不明であった。

〈四類感染症〉

**E型肝炎 4件** 患者 4件、年齢は40代 1件、50代 2件、60代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は経口感染 2件、不明 2件であった。

**A型肝炎 4件** 患者 4件、年齢は30代 1件、40代 1件、50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 3件、韓国 1件、推定感染経路は性別不明性的接触 2件、経口感染 1件、不明 1件、A型肝炎ワクチン接種歴は無し 2件、不明 2件であった。

〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 1件** 病型は腸管、年齢は50代、推定感染地は不明、推定感染経路は性別不明性的接触であった。

**ウイルス性肝炎 1件** B型、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、B型肝炎ワクチン接種歴は不明であった。

**カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症 3件** 病原菌はエンテロバクター・クロアカ 1件、クレブシエラ・アエロゲネス 1件、シトロバクター・フロインディ 1件、年齢は50代 1件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は以前からの保菌 1件、不明 2件、90日以内の海外渡航歴はすべて無しであった。

**急性脳炎 1件** 病原体不明、年齢は10歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染であった。

**クロイツフェルト・ヤコブ病 1件** 孤発性-古典型CJD、年齢は70代であった。

**劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件** 血清群はA群、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は創傷感染であった。

**後天性免疫不全症候群 2件** 無症候キャリア 2件、性別は男性 2件、年齢は20代 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は同性間性的接触 2件であった。

**侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件** 血清型は検査未実施、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、ヒブワクチン接種歴は無しであった。

## 全数把握対象疾患 報告数（五類） 2019年17週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		14週	15週	16週	17週	年累計	17週	年累計
五 類 (全 数 届 出 )	アメーバ赤痢	3	8	1	1	58	10	286
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）				1	27	1	98
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	3	5	3	67	15	592
	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く） <sup>*1</sup>					1		18
	急性脳炎 <sup>*2</sup>	1	1	2	1	40	7	367
	クリプトスポリジウム症	1				2		6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1			1	9	2	50
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		4	3	1	34	9	301
	後天性免疫不全症候群	12	8	9	2	137	7	370
	ジアルジア症					3	1	12
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	2		1	31	5	205
	侵襲性髄膜炎菌感染症					1	2	20
	侵襲性肺炎球菌感染症	5	8	13	7	151	54	1,265
	水痘（入院例に限る）	2			2	19	9	135
	先天性風しん症候群				1	1	1	2
	梅毒	28	29	34	24	537	72	2,010
	播種性クリプトコックス症		1			6	1	47
	破傷風					1	1	20
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1		1		3	1	28
百日咳	19	23	29	21	594	212	5,178	
風しん	29	36	28	16	454	34	1,377	
麻しん	2	4	5	7	60	21	450	
薬剤耐性アシネトバクター感染症					2		12	
2019/5/7集計								

\*1 2018年5月1日より追加指定された。

\*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

**侵襲性肺炎球菌感染症 7件** 血清型はすべて検査未実施、年齢は5歳未満 2件、70代 2件、80代 3件、推定感染地は国内 7件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 5件、不明 2件、肺炎球菌ワクチン接種歴は価数不明4回接種済み 1件、13価3回接種済み 1件、価数不明1回接種済み 2件、無し 1件、不明 2件であった。

**水痘（入院例） 2件** 検査診断例 1件、臨床診断例 1件、年齢は20代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 2件、水痘ワクチン接種歴は無し 1件、不明 1件であった。

**先天性風しん症候群 1件** 推定感染地は国内、母親の妊娠中の罹患歴および風しん含有ワクチン接種歴は不明であった。

**梅毒 24件** 患者 14件（早期顕症梅毒Ⅰ期 6件、早期顕症梅毒Ⅱ期 7件、晩期顕症梅毒 1件）、無症候梅毒 10件、性別は男性 19件、女性 5件、年齢は20代 3件、30代 12件、40代 6件、50代 2件、70代 1件、推定感染地は国内 22件、不明 2件、推定感染経路は性的接触 21件（同性間 11件、異性間 7件、両性間 1件、性別不明 2件）、不明 3件であった。

**百日咳 21件** 年齢は10歳未満 9件（うち5歳未満 3件）、10代 7件、20代 2件、30代 2件、40代 1件、推定感染地は国内 18件、不明 3件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回接種済み 11件、3回接種済み 1件、1回接種済み 1件、不明 8件であった。

**風しん 16件** すべて検査診断例、年齢は20代 6件、30代 4件、40代 2件、50代 4件、推定感染地は国内 14件、不明 2件、推定感染経路は飛沫感染 7件、不明 9件、風しん含有ワクチン接種歴は2回接種済み 1件、1回接種済み 1件、無し 3件、不明 11件であった。

**麻しん 7件** すべて検査診断例、遺伝子型はB3 5件、D8 2件、年齢は5歳未満 4件、20代 1件、30代 2件、推定感染地は国内 5件、インドネシア 1件、不明 1件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 4件、不明 3件、麻しん含有ワクチン接種歴は1回接種済み 3件、無し 2件、不明 2件であった。

※ 第15週該当分として〔五類〕後天性免疫不全症候群 1件、風しん 1件の追加報告があった。

※ 第16週該当分として〔五類〕風しん 8件の追加報告があった。







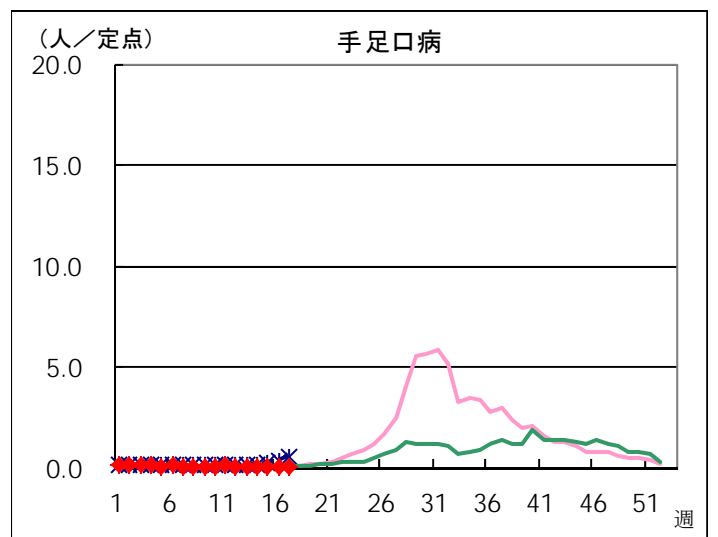
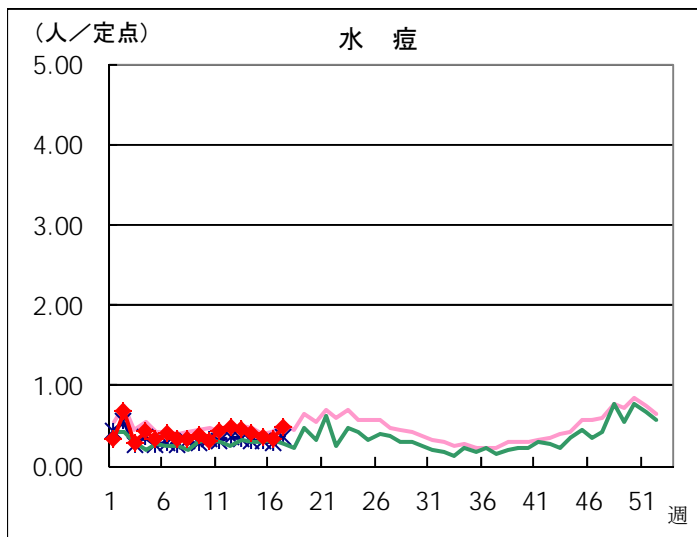
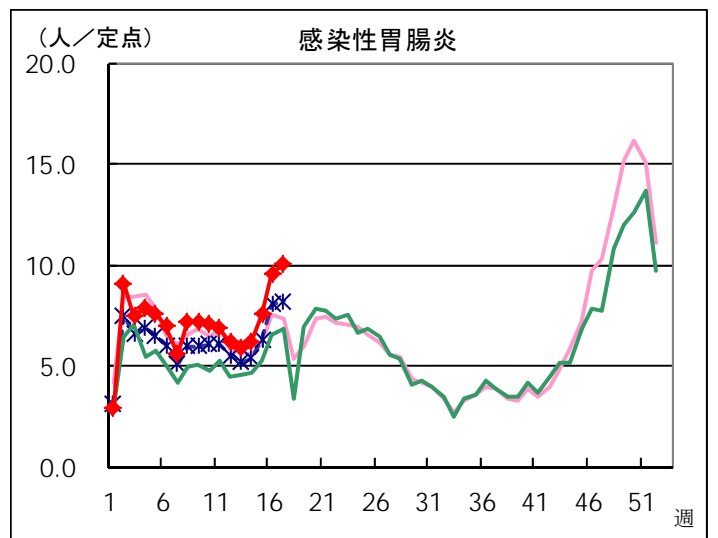
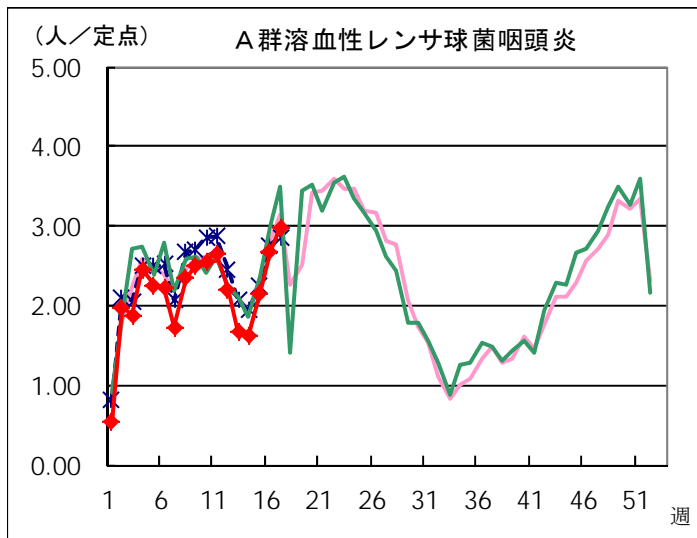
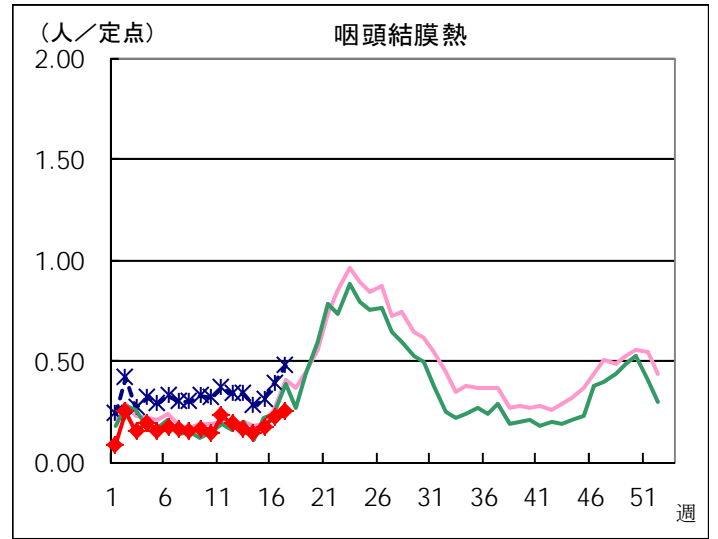
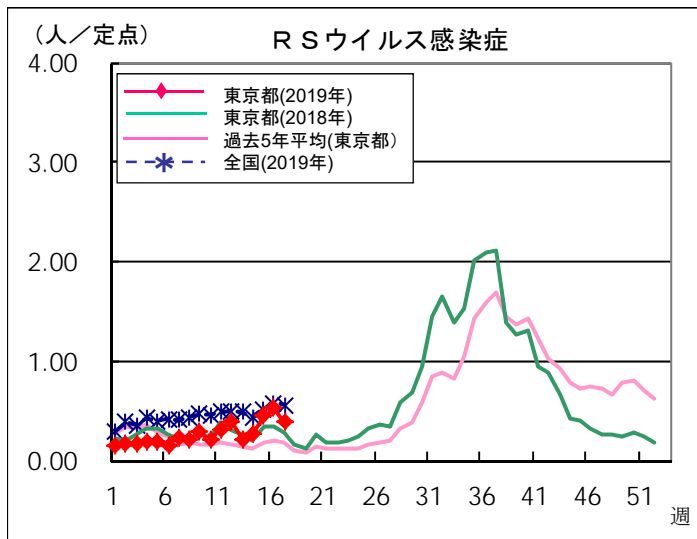


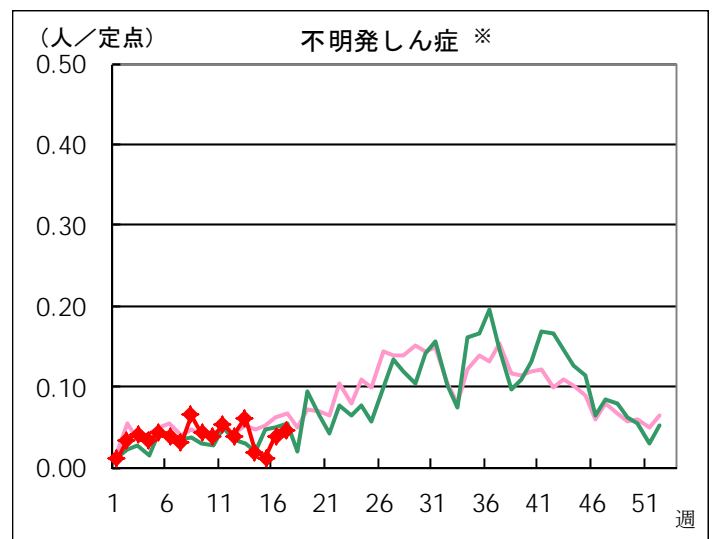
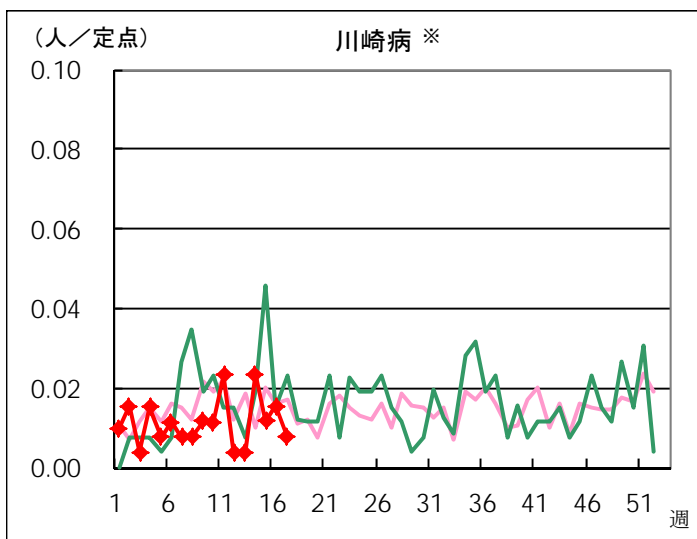
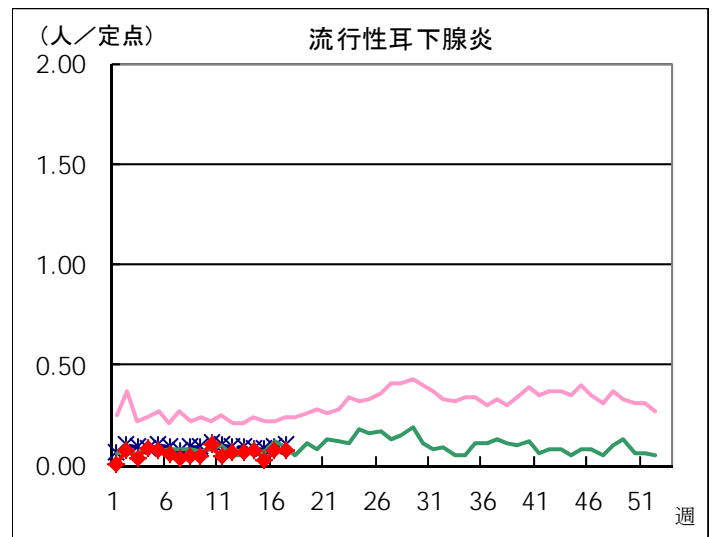
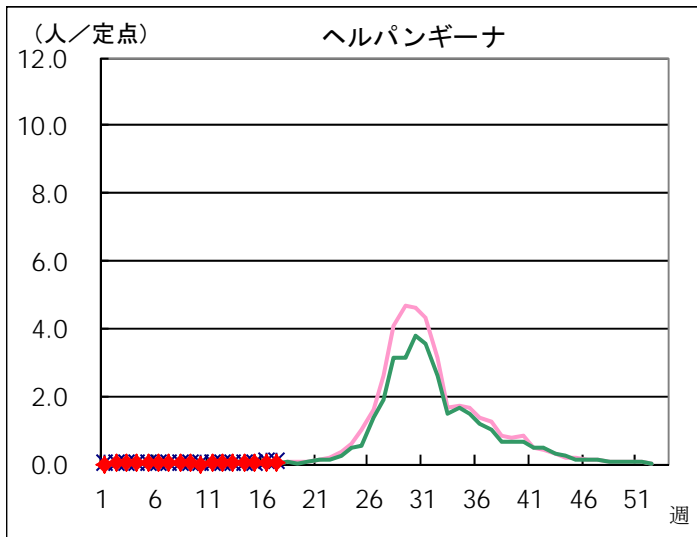
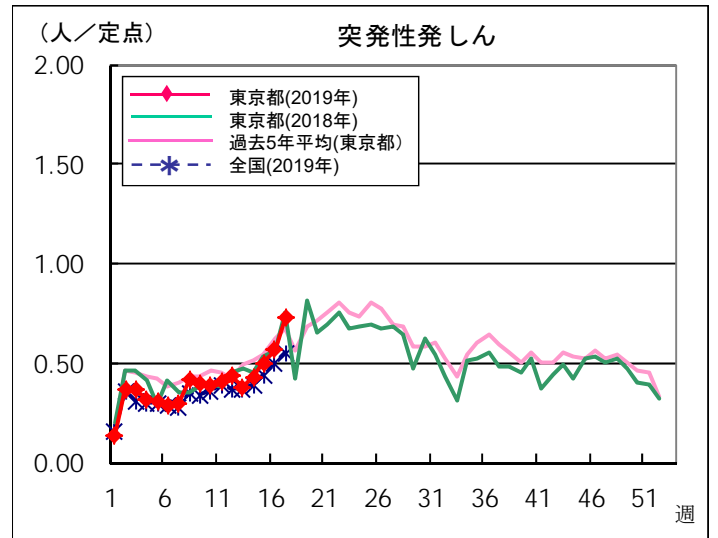
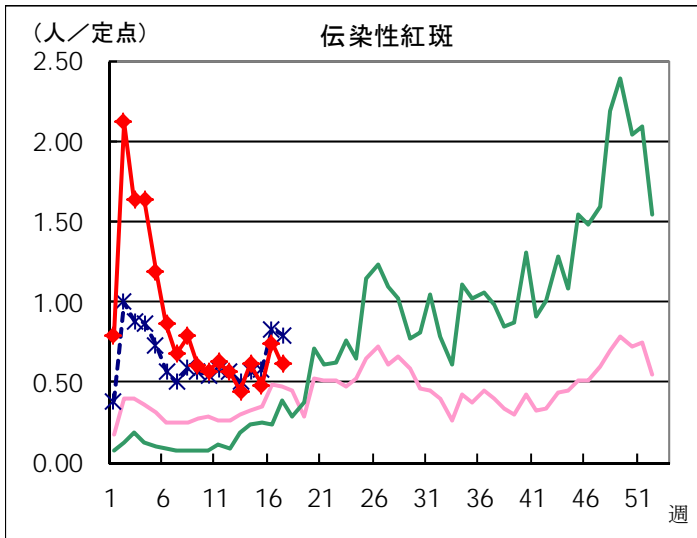




# 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2019年17週 現在)

## ◆ 小児科定点

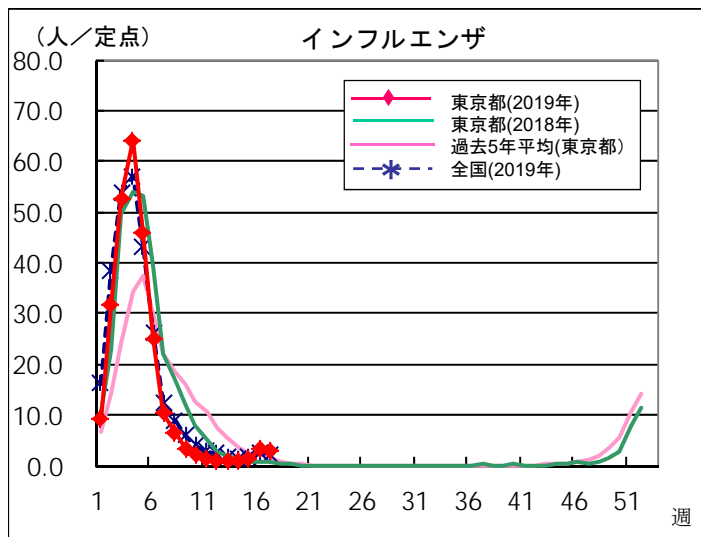




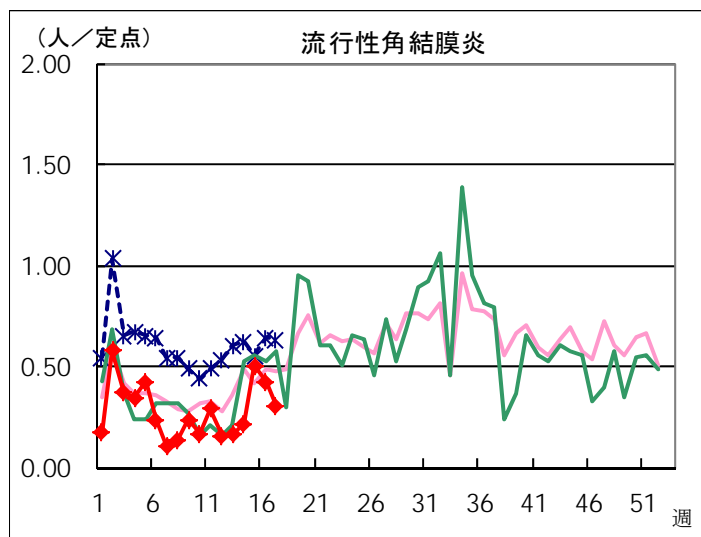
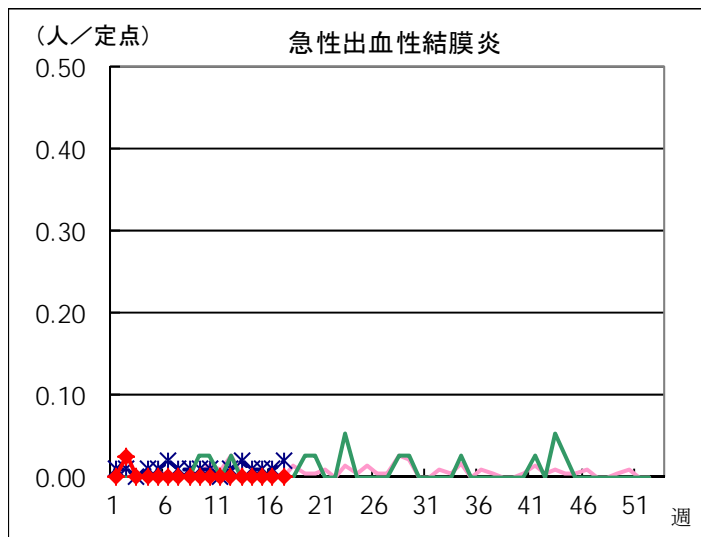
※ 東京都独自対象疾患

※ 東京都独自対象疾患

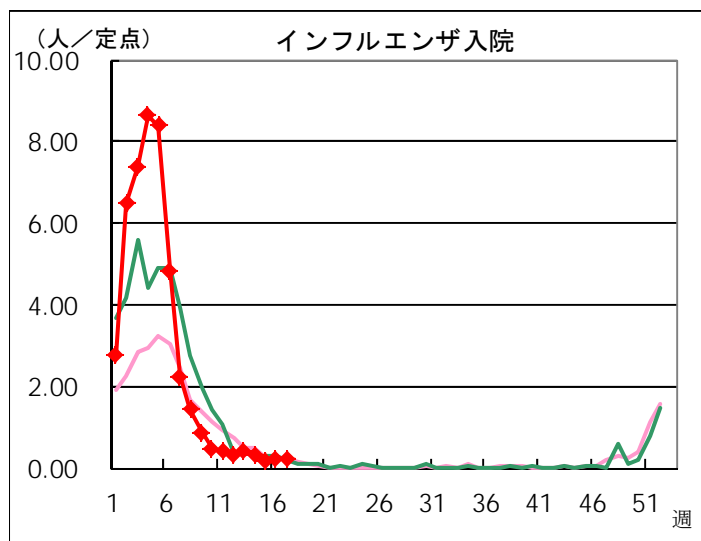
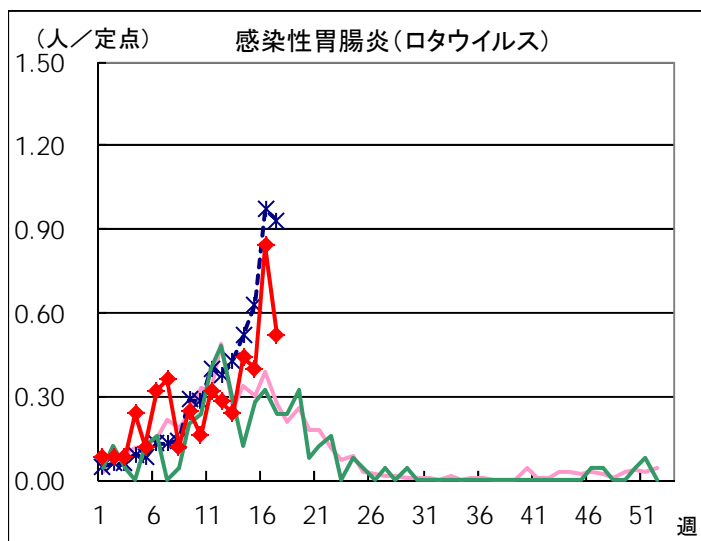
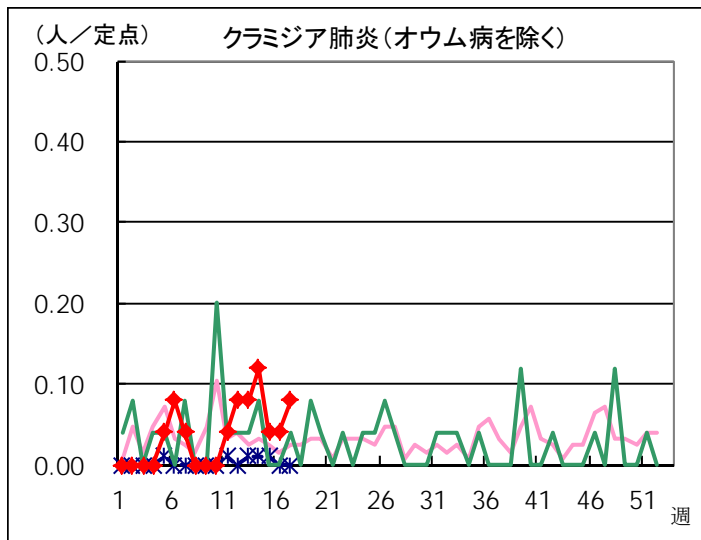
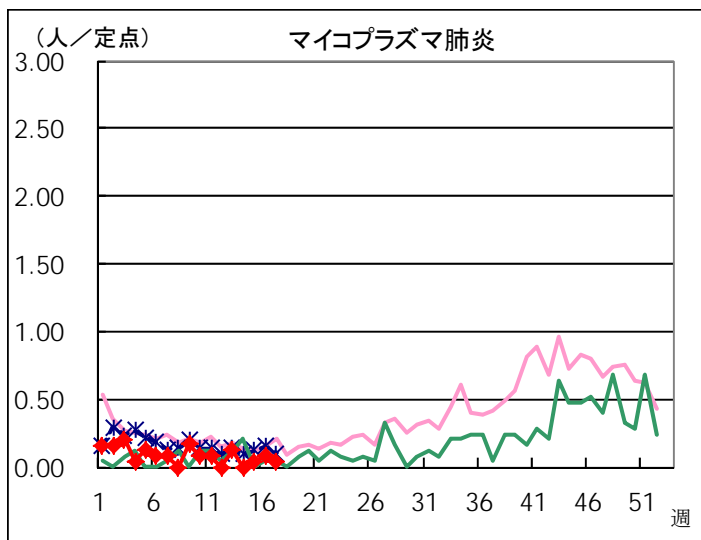
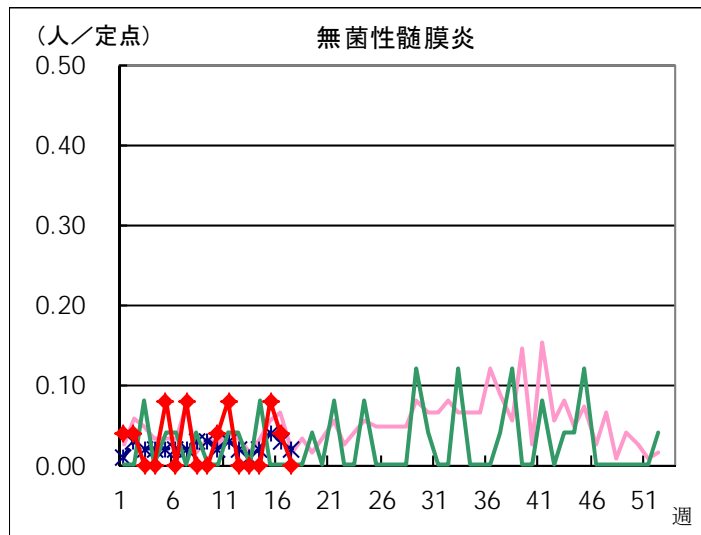
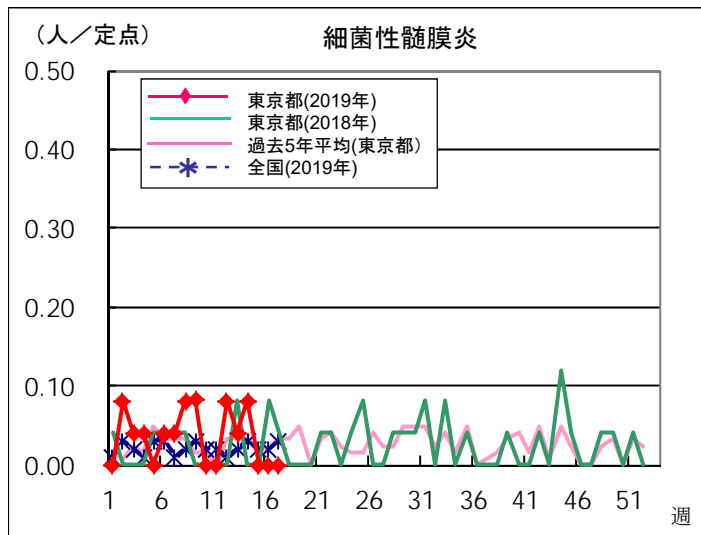
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



## 定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
4/3	インフルエンザ	46	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3亜型※ アデノウイルス
4/8	咽頭結膜熱	2	咽頭拭い液	アデノウイルス2型
4/9	水痘	5	咽頭拭い液	水痘・帯状疱疹ウイルス
4/9	不明発しん症	1	咽頭拭い液	風しんウイルス

※ 下記「遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数」の集計数に含まれる。

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2019年14週	3	2	2	
2018-2019年 シーズン累計*	145	256	7	2

\* 2018-2019年シーズンの開始は第36週(2018年9月3日～)



